

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 11 日 (2023.4.11)

【公開番号】特開 2023-24446 (P2023-24446A)
【公開日】令和 5 年 2 月 16 日 (2023.2.16)
【年通号数】公開公報 (特許) 2023-031
【出願番号】特願 2022-185795 (P2022-185795)
【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

B 3 2 B 27/30 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 3 日 (2023.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリビニルアルコール系樹脂中に二色性色素を含有する偏光フィルムの一方向の面に、重合性化合物を含む硬化性組成物の硬化物から構成される第 1 硬化物層と、粘着層と、導電層とがこの順に積層された光学積層体であって、
前記粘着層は、イオン性化合物を含み、

前記第 1 硬化物層は、下記式 (1)

吸光度上昇率 (%) = (浸漬後 Abs (360nm) - 浸漬前 Abs (360nm)) / 浸漬前 Abs (360nm) × 100 (1)

[式中、浸漬後 Abs (360nm) は、温度 23、相対湿度 60% の大気中で、50% ヨウ化カリウム水溶液に硬化物を 100 時間浸漬させた後の 360nm における吸光度を示し、浸漬前 Abs (360nm) は、50% ヨウ化カリウム水溶液に硬化物を浸漬させる前の 360nm における吸光度を示す]

で表される吸光度上昇率が 20% 以下である、光学積層体。

【請求項 2】

ポリビニルアルコール系樹脂中に二色性色素を含有する偏光フィルムの一方向の面に、重合性化合物を含む硬化性組成物の硬化物から構成される第 1 硬化物層と、粘着層と、導電層とがこの順に積層された光学積層体であって、
前記粘着層は、イオン性化合物を含み、

前記重合性化合物は、2 つ以上のオキセタン基を有するオキセタン化合物を含み、該オキセタン化合物の含有量は、硬化性組成物に含まれる全重合性化合物の総量 100 質量部に対して 40 質量部以上 90 質量部以下である、光学積層体。

【請求項 3】

前記第 1 硬化物層の厚みは、0.1 ~ 15 μm である、請求項 1 又は 2 に記載の光学積層体。

【請求項 4】

前記第 1 硬化物層を構成する硬化物は、前記重合性化合物を含む硬化性組成物の光硬化物である、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の光学積層体。

【請求項 5】

前記偏光フィルムの第 1 硬化物層とは反対側の面に、第 2 硬化物層と保護フィルムとが積層された、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の光学積層体。

【請求項 6】

前記保護フィルムの透湿度は、温度 23 、相対湿度 55 % において、 $1200 \text{ g} / (\text{m}^2 \cdot 24 \text{ 時間})$ 以下である、請求項 5 に記載の光学積層体。

10

20

30

40

50